

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	乳がん患者の治療効果・副作用の予測研究
	研究対象者	乳がんと診断された患者さんのうち、2017 年 11 月から 2026 年 3 月の間に神奈川県立がんセンターで投薬治療を受けられた方
	研究目的	乳がんでは、他がん種に比べ薬剤治療によってがんを制御できる確率が高いです。しかしながら、しばしば治療薬に対して耐性を獲得し、治療効果を低下されます。また治療法毎に各々副作用があり、稀に重篤な副作用を発症することも報告されています。これらのことから、本研究では、患者ごとに異なるがんの特性や治療への応答に焦点を当て、治療効果・副作用の予測を目的とします。
	研究方法	2017 年 11 月から 2026 年 3 月の間に神奈川県立がんセンターで投薬治療を受けられた患者さんの内、書面で研究協力に同意して頂いた方で、投薬治療を受けた患者さんを対象とします。 研究用に頂いている血液から取り出した遺伝子や組織を用いた解析を実施し、治療効果・副作用の予測研究を実施します。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西 暦 2 0 2 4 年 1 月 5 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[☒]総長が研究実施を許可した日 [☐]西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[☒]試料:	[☐]血漿、[☐]血清、[☐]全血、[☒]末梢血から抽出した DNA、 [☒]病理検体(具体的に記載: 組織標本)、 [☐]尿、[☐]糞便、[☐]唾液、[☐]胸水、[☐]腹水、[☐]脳脊髄液、 [☐]毛髪、[☒]その他(具体的に記載: 組織から抽出した遺伝子)
	[☒]情報:	[☒]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[☒]年齢、[☒]生年月日、[☒]性別、[☒]既往歴、[☒]併存疾患、[☒]外来日・入院日・退院日、[☒]臨床検査値、[☒]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[☒]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[☒]ゲノムデータ、[☐]看護記録、[☐]その他(具体的に記載:)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 臨床研究所がん生物学部・星野 大輔
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	施設名（・氏名）タカラバイオ株式会社・畑中 洋一（遺伝子解析を委託します）
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター・臨床研究所・星野 大輔：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 10 月 31 日にお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります